

地域とともに未来を「共創」

4年制私大 コー・イノベーション大学、来春開学



CoIU開学発表会に登壇した(左から)今永同
大事務局長兼教授、宮田学長、井上代表理事

開学発表会には、一般社団法人CoIU設立基金代表理事の井上博成氏、同大学長の宮田裕章氏(慶應義塾大学医学部教授)らが登壇し、開学の経緯、具体的なカリキュラム等について説明した。宮田氏は「『共創学』を軸に、地域の多様な価値を紡ぎながら、世界に結び付けていくことを目指していきたい」と述べた。

募集定員は120名。9月1日からウェブでの出願が始まっている。入試方法には、総合型選抜・学校推薦型選抜と一般選抜を設けた。広く門戸と機会を提供し、意欲ある学生を選抜するため、一般選抜は受験料0円にするとしている。

開学発表会には、一般社団法人CoIU設立基金代表理事の井上博成氏、同大学長の宮田裕章氏(慶應義塾大学医学部教授)らが登壇し、開学の経緯、具体的なカリキュラム等について説明した。宮田氏は「『共創学』を軸に、地域の多様な価値を紡ぎながら、世界に結び付けていくことを目指していきたい」と述べた。

文部科学省による設立認可を受け、2026年4月に「コー・イノベーション大学(CoIU)」が開学する。開学決定を受け、9月8日に開学発表会が開催された。

同大では、地域共創をテーマに、多様な理論と対話を往還するカリキュラムや



記念写真におさまる(左から)学生代表の山口さん、マルティナさん、アフマドさん、笹川理事長、マギー学長

しながら、現地企業や行政等と協働した課題解決型学習プログラムやインターン、オンライン中心の授業を行うなど、先進的な教育プログラムを展開している。

オンライン大学「ZEN大学」の開校を支援するなど国内での新たな教育モデル構築を目指す日本財団は今年4月、ミネルバ大学と一般社団法人ミネルバジャパンの3者で包括協定を締結。世界では8カ所目、1年間の長期滞在拠点としてはアメリカ本校に次ぐ2カ所の授業開始を見据えたシラバスや実施プログラム、学生寮の建設などの受入体制を整備してきた。今回、ミネルバ大学2年生125名が来日。学生たちは今後、全国複数カ所をめぐるながら、日本の学生・地域・企業等と、日本が抱える諸課題解決に取り組む。

セレモニーでは、マイク・マギー・ミネルバ大学学長が挨拶し、支援への感謝と学生に向けてエールを送った。続いて、日本財団の笹川順平理事長が「日本という国が皆さんにとって、最も重要な意味のある国の一つになることを願っている」と学生たちを歓迎した。また、学生代表として挨拶した山口笑愛さんは「日本の学びへの意気込みを語った」。

日本財団は今後10年間で約75億円を拠出し、日本学生向けの奨学金を設置するなど、支援を継続する。

日本財団が支援

ミネルバ大学、日本拠点が開校

アメリカ・サンフランシスコに本部を置くミネルバ大学の日本拠点開校セレモニーが9月5日、都内で実施された。

ミネルバ大学は、2014年9月開校の4年制総合大学。キャンパスを持たず、学生が世界各都市に設けられた拠点を定期的に移動